
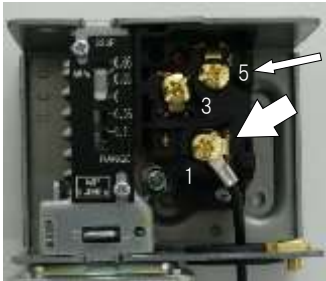

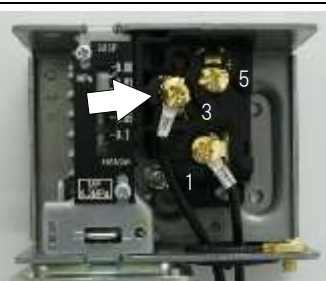

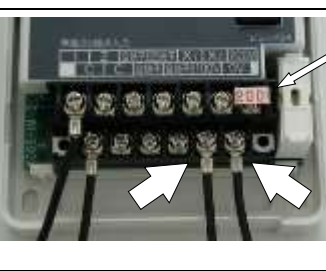
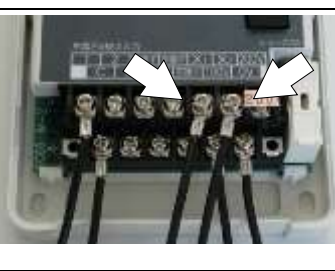


【付属機器の接続】

圧カスイッチと小型警報盤の配線は、下記の通りに接続してください。
 圧カスイッチと小型警報盤の取扱説明書も併せてご確認ください。
 配線は指定した R 形圧着端子を使用して接続し(注)、Y 型圧着端子は使用しないでください。
 設置場所に適用される法令、および消防本部の指導に従って接続してください。

<p>①</p>  <p>圧カスイッチ</p> <p>小型警報盤</p>	<p>圧カスイッチと小型警報盤のカバーを外してください。圧カスイッチは、前面のネジを緩める必要があります。圧カスイッチは本体下部右にグロメットがあります。小型警報盤は、必要に応じて本体ケースの下部を切り取ってください。</p>	
<p>②</p>  <p>右上の端子、「5」は 使用しません。 1:COM 3:ノーマリーオープン 5:ノーマリークローズ</p> <p>圧カスイッチ</p>	<p>③</p>  <p>小型警報盤</p>	<p>圧カスイッチの「1」を小型警報盤の C に接続してください。圧カスイッチの圧着端子は、『R1.25-4』を使用してください。</p> <p>小型警報盤の C は端子列の下段左にあります。小型警報盤の圧着端子は、『R1.25-3.5』、または『R2-3.5』を使用してください。</p>
<p>④</p>  <p>圧カスイッチ</p>	<p>⑤</p>  <p>小型警報盤</p>	<p>圧カスイッチの「3」を小型警報盤の 1 に接続してください。小型警報盤の 1 は端子列の上段左にあります。</p>
<p>⑥</p>  <p>200V 端子は シールで封止 されています。</p> <p>小型警報盤</p>	<p>⑦</p>  <p>小型警報盤</p>	<p>小型警報盤の電源端子 0V と 100V、または 200V を非常電源に接続してください。非常電源への接続方法は、設置場所の消防本部の指導に従ってください。 ただし、全ての配線が完了するまで通電しないでください。</p> <p>小型警報盤の X₁ と X₂ は一括警報出力(無電圧 a 接点)です。一括警報出力の配線先、配線方法は、設置場所の消防本部の指導に従ってください。</p>

注) 当資料は、撮影のため裸圧着端子を使用しています。必要に応じて絶縁キャップや絶縁被覆付圧着端子を使用してください。